施設名	指定管理者名	評価	評価内容
日限山			【地域活動・交流】
			●子育て世代や子どもだけで時間を問わず利用できるス
			ペースを設け、来館しやすい雰囲気づくりが出来ていま
			す。引き続き、総合相談窓口であることを周知し、様々
			な世代が来館しやすい環境づくりに期待しています。
			●男性の地域とのつながりづくりとして、「オトナの男の エボホーカーではなけばしった」との見聞は、またり
			頂講座」を5職種連携して取り組み、次の展開につなが
			る形ができました。民生委員との顔つなぎも行うこと
			で、今後の地域活動への関わりが期待できます。
			●調理室を利用した事業を繰り返し開催し、調理室の認知 度が高まっています。料理だけでなく、オーブンを使用
			した工作などの需要も生まれ、調理室の稼働率が上がっ
			した工作などの需要も生まれ、調理室の稼働率が上がっています。
			【生活支援】
			▲エルス
			なる方への声掛けや高齢者の傾向把握に努めました。
			●新たな活動団体を介護予防・生活支援サービス補助事
			業の申請につなげ、地域資源を強化しました。ケアプ
			ランを作成する人に活動体験をしてもらう工夫など
			効果的な取組をしています。
			●介護予防・生活支援サービス補助事業の意見交換会や
地域	(社福) 同塵会	S	近隣包括訪問など、他区にもよい影響を与えていま
ケアプ	(江油) 问座云	3	す。
ラザ			【地域包括支援センター】
			●相談内容を3職種で共有し、適切に支援しています。
			また、把握し分析した地域課題として男性高齢者の孤
			立化対策を取り上げ、男性限定の講座を開催し、事後
			も自主継続を図りました。
			●権利擁護普及啓発講座などを行い、成年後見制度やエー ンディングノートの周知を図りました。また、個別相
			フティングノートの周知を図りました。また、個別相 談からも丁寧に成年後見制度の必要性を引き出し、制
			酸がらも丁寧に成年後兄前度の必要性を引き出し、前 度につなげました。
			●キャラバンメイトや地域の支援者と、認知症サポータ
			一養成講座、認知症予防講座など様々な取組で認知症
			理解を広げ、早めの相談につなげました。
			●ケアマネジャーが自立支援型のケアプランが作成で
			きるよう、介護予防・生活支援サービス補助事業所に
			ついて情報提供したり、ケアプラザの事業への参加を
			促しました。また、ケアマネジャーとの連携を密にし、
			委託ケースの支援を行いました。
			●各元気づくりステーションが主体的・継続的に活動で
			きるための支援を行いました。また、介護予防活動支
			援者へのスキルアップ研修を開催しました。へのスキ
			ルアップ研修を開催しました。